

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	学校企画課長 福間 俊行	電話番号	0852-22-5408
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	進路希望実現のための講師配置事業		
目的	(1) 対象 ア 進路指導教員代替非常勤講師配置 … 専門学校及び就職者の多い普通科高校21校 イ 教科指導充実非常勤講師配置 … 進学者の多い普通科高校13校		
	(2) 意図 ア 進路指導主事等の授業時数を軽減し、進路指導、特に就職指導の充実・強化を図る。 イ 少人数指導や習熟度別指導、あるいは個別指導等の個々の生徒に応じたきめ細かい指導の充実を図るとともに、教員相互の情報交換を積極的に行うことで授業力向上を図り、個々の生徒の進路希望実現に向けた支援を強化する。		
事業概要	ア 進路指導教員代替非常勤講師代替事業 週当たり4～12時間、年間35週分の非常勤講師を配置し、進路指導主事等の負担を軽減し、進路指導の充実・強化を図る。 イ 教科指導充実非常勤講師配置事業 国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語の6教科、週31時間（年45週）×15人分とし、1名31時間での任用を原則とする。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	県立高校生の就職内定者における県内就職内定率	目標値		80.0	83.0	83.0	85.0	%
	式・定義	県内就職内定率×100/就職内定者	取組目標値						
			実績値	74.2	76.6	74.0			
			達成率	-	95.8	89.2	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	55,441	60,762
うち一般財源 (千円)	55,441	60,762

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

ア 進路指導教員代替非常勤講師配置（配置実績のへ32名） 進路指導主事等の県内企業訪問回数は年間約1,900回（1校あたり約90回）、うち800回弱（1校あたり40回弱）が本事業により実施された。定住促進事業等への参加数は21校で約140回、職場開拓や外部機関との連携回数は約90回実施された。
イ 教科指導充実非常勤講師配置（配置実績のへ31名+再任用者3名） 各校で週1時間程度、非常勤講師による教科指導を実施した。 ・就職希望者の就職内定状況は、H29年度 99.2%（前年度99.2%、前前年度99.5%）でほぼ横ばい。 ・就職内定者の県内就職率は、H29年度74.0%（前年度76.6%、前前年度74.2%）で推移。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業の情報収集、定住促進事業への参加、職場開拓や関係機関との連携、個々の生徒に対応した進路指導等により、高い就職内定率を実現した。</li> <li>少人数指導や習熟度別指導等により、きめ細かい学力育成が行われた。</li> </ul>
---

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業について、半数の生徒にはまだ認知が不十分。（平成29年度「学校生活に関するアンケート」の「自分の住んでいる地域にどのような企業があるか知っている」に肯定的な回答をした卒業年次生47.4%）</li> <li>生徒の希望職種にマッチした企業情報の提示が不十分。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員に、職場開拓や求人を得るノウハウや時間が十分でないこと。</li> <li>教員は授業が本務であり、担当授業時間を削減した進路指導はできないこと。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業とのつながりや生徒のニーズに合った情報の確保。</li> <li>進路担当教員の授業外時間の進路指導業務時間の確保。</li> </ul>

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>企業とのつながりの大きい商工労働部や労働局との連携を密にし、学校への企業情報提供や県内企業セミナーの実施など、より生徒の進路実現に資するものにしていく。</li> <li>学校との連携をより密にし、進路指導時間の確保やきめ細かい学習指導が実現できるよう、必要時間分の非常勤講師の配置を行う。</li> </ul>
---